

株式会社エスコン
代表取締役社長 伊藤貴俊
東証プライム市場 コード 8892
Tel. 03-6230-9308

分譲マンション『レ・ジェイド目黒』分譲開始 ～都市の利便性と文化が調和する街に佇む気品のあるレジデンス～

株式会社エスコン（本社：東京都港区、代表取締役社長：伊藤貴俊）が東京都目黒区において手がける、新築分譲マンション『レ・ジェイド目黒』につきまして、2026年2月11日（水）より分譲開始いたしますので、お知らせいたします。当物件は、落ち着きと文化が息づく目黒の地に相応しい気品のあるデザインを採用したレジデンスです。

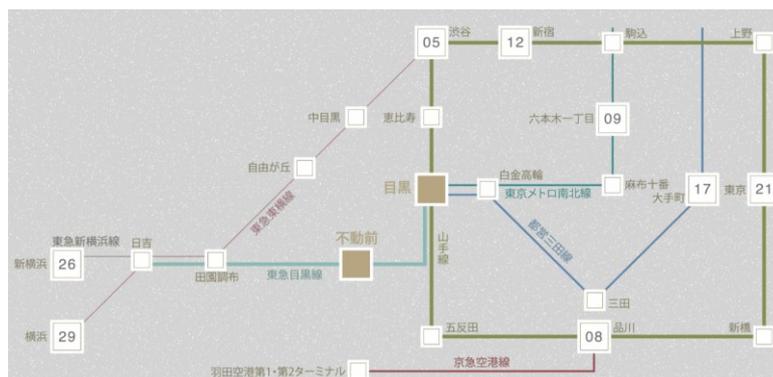


エントランスアプローチ完成予想図

当物件の特徴

アクセス

当物件は、JR 山手線、東京メトロ南北線、都営三田線、東急目黒線の4路線を利用可能な「目黒」駅まで徒歩10分、東急目黒線「不動前」駅まで徒歩6分の場所に位置し、「渋谷」「品川」「大手町」などの主要駅へダイレクトアクセスが可能な交通利便性に優れた立地です。また、首都高速3号渋谷線「池尻」出入口（用賀・東名方面）、首都高速2号目黒線「目黒」出入口（用賀・東名方面）が車で10分圏内に位置しており、カーアクセスにも優れております。



ロケーション

周辺は、「林試の森公園」や「東京都庭園美術館」など様々な公園や文化施設が身近にある、豊かな自然と芸術を享受できる住環境です。また、都市型ショッピングモール「アトレ目黒」やスーパーなど買物利便施設が徒歩圏内に揃うほか、多彩なジャンルの洗練された飲食店や家具、雑貨、アパレルなどの感度の高いショップも点在する充実したロケーションです。

デザイン

外観は、歴史と文化の息づく目黒の地に相応しい「Refined Heritage (洗練された継承)」を設計コンセプトとして掲げ、周辺の神社仏閣が醸し出す静謐な環境に調和するデザインを追求しました。

建物の正面には、時の移ろいを感じさせる質感の素材を採用し、「最初からこの地にあったかのような」普遍的で落ち着きのある佇まいにしております。



外観完成予想図

共用部

エントランスは、視覚的な「抜け」を確保した空間構成により、都市に開かれた開放感を演出しつつ、内側に入るとプライバシーの確保された邸宅らしい「私的な静寂」を享受できるデザインとしました。また2層吹き抜けのエントランスホールには、目黒の地を体現した石のモニュメントを設置し、静けさをまとった安らぎを感じられる迎賓空間にいたしました。



エントランスアプローチ完成予想図



エントランスホール完成予想図

サステナビリティ

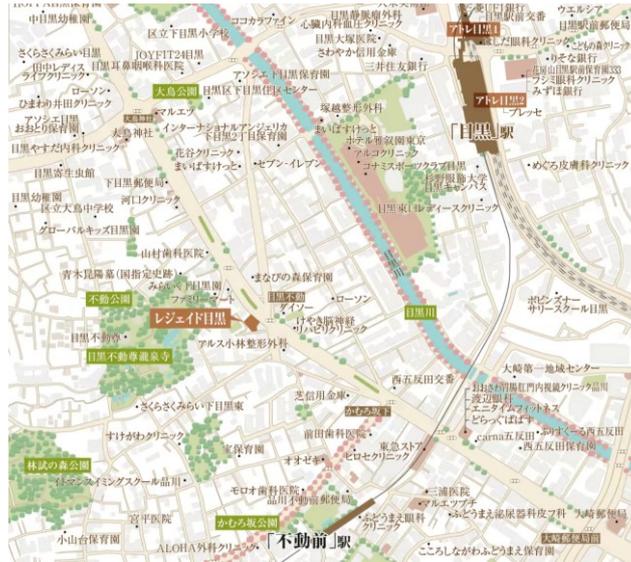
当物件は優れた断熱性能を有し、年間の一次エネルギー消費量削減に資する「ZEH-M Oriented ※2」を取得予定です。さらに、太陽光パネルやEV充電設備の設置、屋上の緑化により環境に配慮した設計となっております。



快適かつ経済的な次世代住宅

ZEH-M Oriented

現地案内図



物件概要

物件名称：レ・ジェイド目黒
所在地：東京都目黒区下目黒三丁目7番（地番）
交通：東急目黒線「不動前」駅徒歩6分
JR山手線・東京メトロ南北線・都営三田線・東急目黒線「目黒」駅徒歩10分
構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上13階建
設計会社：有限会社湯本建築事務所
施工会社：ライト工業株式会社
総戸数：62戸
売主：株式会社エスコン
入居予定：2028年3月
物件サイト：<https://sumai.es-conjapan.co.jp/meguro62/outline/>

レ・ジェイドブランドについて



Le JADE
レ・ジェイド

「レ・ジェイド」は常識にとらわれない発想から創り出す、当社の分譲レジデンスブランドです。いつまでも色あせることのないあざやかな光彩を放ち続ける「ジェイド＝翡翠」のように、経年劣化ではなく「経年美化」する住宅を目指して、建設する街ごとに素材やデザインを変えながら開発しております。

公式サイト：<https://sumai.es-conjapan.co.jp/>

公式 Instagram：

https://www.instagram.com/escon_modelroom/?hl=ja

※1.掲載の距離・徒歩分数は、地図上の概則距離80mを1分で算出(端数切り上げ)したものです。
※2.「ZEH-M Oriented(ゼッチマンションオリエンテッド)」とは、都市部狭小地や多雪地域の地域的制約により ZEH の実現が困難な場合において、可能な限り ZEH を目指した取組を喚起するため、ZEH の断熱性能と省エネ基準比20%削減の達成を図った住宅のことです。なお、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)とは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを旨とした住宅」と定義されております。

※3.掲載の完成予想図は、図面を基に描き起こしたもので、建物の形状、仕様、色調、外構、植栽等は行政官庁の指導、施工上の都合及び改良のため、一部変更が生ずる場合があります。敷地周辺の建物・電柱・標識・架線・ガードレール・植栽等は、一部簡略化および省略しております。植栽につきましては特定の季節の状況を表現したのではなく、竣工時には完成予想図程度には成長していません。

※4.周辺環境について詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

<本件に関する問合せ>

コーポレート本部 広報部 電話 03-6230-9308